

## Ⅲ 広島市の環境の状況等

### 自然環境

#### ○ 位置

広島県の西部に位置して広島湾に面し、東西は、およそ47km、南北は、およそ35kmあり、面積は905.13km<sup>2</sup>です。〈平成19年(2007年)10月1日現在〉

#### ○ 気候

温暖で降水量が少ない「瀬戸内気候区」に属しています。平年で1月5.3℃、8月27.9℃、年平均16.1℃と比較的温暖な気候です。

#### ○ 土地の利用

##### (1) 地目別土地面積

平成15年(2003年)から平成19年(2007年)までの地目別土地面積の推移を見ると、田、畑が減少し、宅地が増加する傾向にあります。山林の増加は、湯来町の合併によるものです。

#### 地目別土地面積の推移

単位：千m<sup>2</sup>

区分	平成19年 (2007年)	増減
		(H15年~H19年) (2003年~2007年)
総面積	424,251	30,820
宅地	81,581	1,858
田	30,618	△1,009
畑	14,384	△335
山林	275,161	30,354
原野	4,388	145
池沼	41	△9
雑種地	15,871	75
軌道用地	2,207	△259

資料：平成19年(2007年)版広島市統計書

##### (2) 経営耕地面積と農地流動化面積

2,067haの耕地(市域総面積の2.3%)が7,295戸の農家によって経営されています。

〈平成17年(2005年)〉

##### (3) 森林面積

森林面積6万780ha(市域総面積の67.2%)のうち、民有林は5万5,897ha、国有林は4,883haとなっています。

〈平成15年(2003年)3月31日現在、旧湯来町を含む〉

#### ○ 生物の多様性

各分類群の「絶滅」、「絶滅のおそれのあるもの」、「環境指標種」の選定種数

分類群名	絶滅	広島市の絶滅のおそれのあるもの				環境指標種	計	
		絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念	情報不足			
植	種子植物	8	28	36	11	9	15	107
	シダ植物	3	7	6		3	1	20
	コケ植物	1	8	4	1	9	2	25
	地衣類		6	1		3		10
	藻類				1	3		4
	菌類		6	15		2		23
動物	群落	1	5	8	3			17
	小計	13	60	70	16	29	18	206
	哺乳類					10	1	11
	鳥類		2		3	17	3	25
	爬虫類			2	1	2		5
	両生類			2			4	6
植物	淡水魚類		8	6	2			16
	昆虫類	6	8	11	6	2	23	56
	クモ類				2			2
	甲殻類		1	3	1			5
	貝類		1	4				5
	小計	6	20	28	15	31	31	131
合計	19	80	98	31	60	49	337	

資料：「広島市の生物—まもりたい生命の営み—」

#### ○ 農林業の動向

##### (1) 林業の動向

民有林5万5,897haのうち、針葉樹が3万6,343ha、広葉樹が1万8,820ha、その他734haとなっています。

〈平成15年(2003年)3月31日現在、旧湯来町を含む〉

##### (2) 農業の動向

販売農家数は2,451戸、農業就業人口は4,253人です。近年の著しい都市化の進展や農業従事者の高齢化などにより、縮小傾向にあります。

〈平成17年(2005年)〉

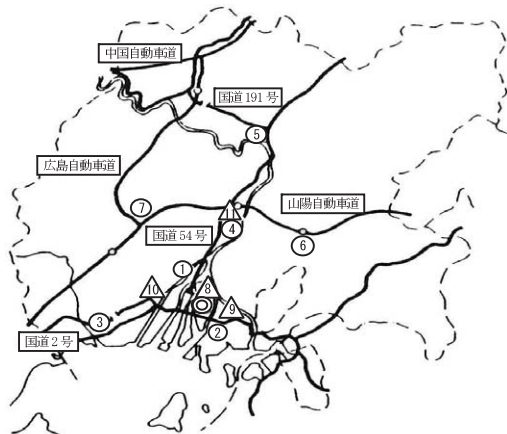
## 生活環境

### ○ 大気環境

大気汚染に係る環境基準は、ほぼ達成されています。

浮遊粒子状物質は、黄砂の影響などにより一部の大気測定局で環境基準が達成されていません。また、光化学オキシダント(注)も、全国の状況と同様、環境基準の達成が難しい状況が続いており、平成19年度(2007年度)は、光化学オキシダント注意報が、広島地区で4回、可部地区で2回、海田地区で2回発令されています。

#### 大気測定局設置状況



(注) 光化学オキシダントとは、いわゆる光化学スモッグの原因となり、高濃度では粘膜を刺激し、呼吸器への影響を及ぼすだけでなく、農作物など植物への影響も観察されています。

#### 大気汚染に係る環境基準達成状況

—平成19年度(2007年度)—

一般大気測定局	二酸化窒素	浮遊粒子状物質	二酸化硫黄	光化学オキシダント
1 三篠小学校	○	×	—	×
2 皆実小学校	○	○	○	×
3 井口小学校	○	○	○	×
4 安佐南区役所	○	○	○	×
5 可部小学校	○	○	—	×
6 福木小学校	○	○	—	×
7 伴小学校	○	○	○	×

自動車排出ガス測定局	二酸化窒素	浮遊粒子状物質	一酸化炭素
8 紙屋町	○	×	○
9 比治山	○	○	—
10 庚午	○	×	○
11 古市小学校	○	○	—

○：環境基準適合  
 ×：環境評価基準不適合  
 —：測定器未設置

### ○ 水環境

水環境に係る環境基準は、海域のCODを除いて、達成されています。

海域のCODについては、瀬戸内海が閉鎖性水域であるため、環境基準の達成が難しい状況が続いています。

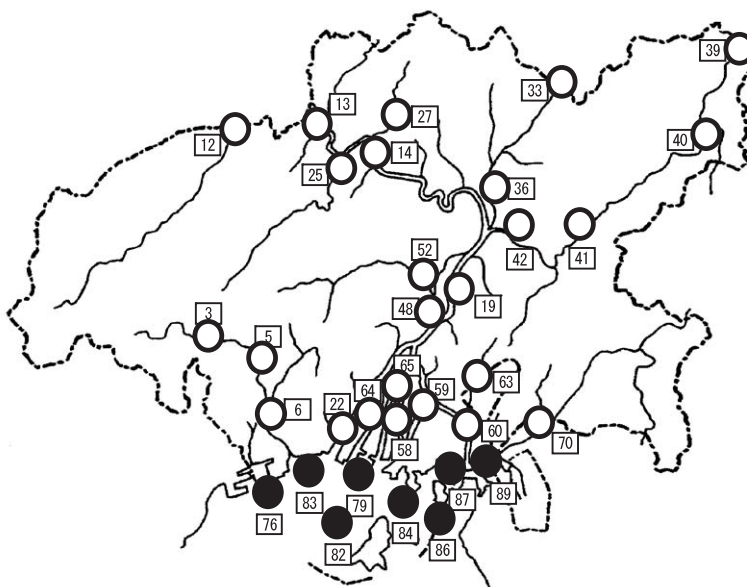
#### BOD(注1)の環境基準適合状況(河川)

水質環境基準点	適合状況	水質環境基準点	適合状況
3 魚切貯水池上流	○	40 関川下流	○
5 郡橋	○	41 狩留家	○
6 泉橋	○	42 深川橋	○
12 水内川河口	○	48 東原	○
13 高山川下流	○	52 五軒屋	○
14 壬辰橋	○	58 舟入橋	○
19 戸坂上水道取水口	○	59 御幸橋	○
22 旭橋	○	60 仁保橋	○
25 吉山川(川井橋)	○	63 新大洲橋	○
27 宇津橋	○	64 昭和大橋	○
33 人甲川合流前	○	65 南大橋	○
36 根の谷橋	○	70 日浦橋	○
39 見坂川下流	○	—	—

#### COD(注2)の環境基準適合状況(海域)

水質環境基準点	適合状況	水質環境基準点	適合状況
76 26番地点	●	84 宇品・似島中間点	●
79 江波沖	●	86 金輪島南	●
82 12番地点	●	87 仁保沖	●
83 17番地点	●	89 海田湾中央	●

#### 水質環境基準点及び環境基準適合状況



注1：BODとは、河川の水質の状況を判断する代表的な指標です。

注2：CODとは、海域の水質の状況を判断する代表的な指標です。